

# 花どけい

' 11/7/25 No.62



## 主な内容

- ☆ 地域との交流
- ☆ 2011 年度  
新体制と総会報告
- ☆ デイ「四季おりおり」  
～おいしく食べる～
- ☆ ご利用者の声
- ☆ 介護の  
ワンポイント



## NPO 法人 ぐるーぶ 藤

〒251-0004 藤沢市藤が岡1-4-2  
TEL 0466-24-3100  
FAX 0466-24-7100

E-mail: [npo-fuji@cityfujisawa.ne.jp](mailto:npo-fuji@cityfujisawa.ne.jp)  
<http://www.npo-fuji.com/>

居宅介護支援事業  
訪問介護事業  
訪問看護事業  
小規模多機能型居宅介護事業  
障害者グループホーム  
高齢者住宅  
ボランティア活動  
レストラン

ぐるーぶ藤ケアマネジメント  
ぐるーぶ藤ホームヘルプ  
訪問看護ぐるーぶ藤  
ぐるーぶ藤しがらきの湯  
藤が岡の家  
ぐるーぶ藤一番館  
ボランティアすみれ  
OHANA(オハナ)

通所介護事業 デイハウス藤の花  
〒251-0045 藤沢市辻堂東海岸1-7-28  
TEL 35-5600 FAX 35-5800

通所介護事業 デイハウス菜の花  
〒251-0037 藤沢市鵠沼海岸2-9-11  
TEL 35-7330 FAX 35-7330

発行責任者：鷺尾 公子

## お元気ですか



理事長 鷲尾 公子

毎日暑い日が続いていきます。今年は震災による電力不足のため、さまざまな形で節電への取り組みが進められています。「一番館」でも15%の削減を目ざしています。しかし一方で熱中症の報道も増え続けています。汗をかいたらこまめに水分を摂ることが大切です。のどの渇きを感じなくても一時間おきぐらいにコップ半分ぐらいの水分を摂るように心がけ、とにかくこの暑い夏をしごとく乗り切りましょう。

5月28日『通算第19回・ぐるーぷ藤通常総会』が無事終わりました。市長はじめ大勢の来賓の方々から応援メッセージをいただき、自分たちの成すべき役割を再確認し、身の引き締まる思いです。今年は二〇周年記念行事をはじめ、二番館の準備、組織体制や賃金体系の見直しなど課題が目白押しです。一つ一つ丁寧に「藤」らしく活動を積み重ねていきたいと思っております。

関東地方が梅雨明けした日に、このたびの地震による津波で被災された仙台の市民協の仲間を激励訪問してきました。巨理郡の「NPO法人ささえ愛山元」の理事長の

中村さんは、自宅も宅老所も、ティサービスマも、その上ご主人まで亡くされ、ご自身は4時間も水に浸かりながら頑張りぬぎ、悲しみを乗り越えて立ち上がろうとしています。当初は茫然自失の日々で自宅の跡にはとても近寄れなかったと言います。「藤」から5月に送り込んだ18歳と20歳の若者が「ささえ愛山元」が最初に受け入れたボランティアだそうで、若者たちが悪臭を放つ泥を懸命にかき出す姿を見て、立ち上がりなければと思われたそうです。

その後、山元町の仮設住宅を訪問しました。ひまわりの種を届けるNPOに同行し「藤」からプランターと土とシャベルとじょうろをプレゼントすることにしました。仮設住宅はテレビで見ただよりも狭く感じ、山の中で周りにはホントに何もなく、買い物は販売車が廻ってくるとのことでした。この住宅の周りをもっともっと花でいっぱいにしたいと心から思いました。ここでは今自転車が必要ということでした。現地の朝のニュースで、40代の方が仮設住宅で亡くなっていたと報じられましたが、十分想定される環境だと思いました。

次に訪問したのは、昨年ドイツ・オラン

ダ研修と一緒に参加した、東松島市の「NPO法人のんびりのすみちゃんの家」でした。すぐ前の仙石線の線路は泥に埋もれ、駅舎は跡かたもなく無くなっていました。デイもグループホームも宅老所も一階は押しつぶされ、新築したばかりの自宅も頭の高さまで水に浸かりました。しかし3カ月の間に大学生を始め延700人のボランティアの協力により、自宅を蘇えらせ、しかも宅老所まで併設させていました。7月には復興祭を行うことが出来ました。私の訪問はその2日後でしたが、すでに3名のご利用者が気持ち良さそうに椅子に座っておられました。寿美子さん自身は休みなく続く復旧作業に疲れきっている様子でしたが「ご利用者の家族からのお願いは断ることはできないよね」と笑っていました。被災を免れたデイの二階は近隣のボランティアのための宿泊所に提供していました。この大らかな芯の強さが人々の心を惹きつけていると感じました。

私たちはこれからも繋がりがながら、エールを送り続けたいと思います。

(※市民協―市民福祉団体全国協議会)



# 地域とのつながりを大切に！

地域の皆さまからあたたかいご支援をいただき、交流の輪を広げています

## どんぐり園との交流



七夕さまの準備で子供達と  
短冊づくり

みんなどんな願い事を  
してるのかな？



そう、すごいね～



おばあちゃんは  
何になりたいの？



ぼく、消防士になるんだ～！



## 小川さんの 楽しいマジックショー



何が出てくるかな？



わぁー、すごいわよ



## 秋元さんの 玄米ニギニギ体操

★玄米ニギニギ袋の作り方★  
袋（縦24cm・横7.5cm）× 2個  
袋に玄米を入れて出来上がり



楽しいね～



にぎった感じがいいわ～



しっかりとぎって  
前に横に、上に下に  
回しましょう～

# ふじファンド決算及び監査報告

ふじファンド2010年度決算報告  
(2010年4月1日～2011年3月31日)

単位：円

科目	金額
収入	
受取利息 (9950万円×1.8%)	1,791,000
雑収入 (預金利息)	323
収入合計	1,791,323
支出	
管理費	120,000
通信費	24,191
消耗品費	23,746
会議費	1,890
寄付金 (第6回ぐるーぷ藤総会)	100,000
寄付金 (大震災義援金)	100,000
交通費	3,000
雑費	4,410
支出合計	377,237
当期余剰金合計	1,414,086
未払分配当	1,192,000
未払源泉徴収税	298,000
当期末処理余剰金	-75,914

## 監査報告書

ふじファンド代表 小野謙三 様

2010年4月1日から2011年3月31日までの監査を実施しましたので、報告いたします。

- ・監査実施日 2011年5月9日
- ・立会人 代表 小野謙三

### ◇監査方法

貸借対照表、収支決算書等の財務諸表及び現金、預金通帳、証憑類の実査及び立会人から報告を求め調査しました。

### ◇監査結果

- ・適正に処理されていることを認めます。
- ・20年目を迎える「ぐるーぷ藤」。この長きに亘る活動は、スタッフの誠実で心のこもった働き方はもとよりご利用者の応援があってこそと思います。「ふじファンド」も「藤」の応援団として、経済面から支えてきました。運営は問題なく、東日本大震災に義援金を送ることができました。これも出資者と運営者があってのものだと思います。今後とも発展を願っております。

監事 横手千明

新年度、いくつかの役職の交代がありました。顔写真は新体制で代わられた方々です。



理事長 鷺尾公子

## 理事会

## 代表者会議

## 運営会議

研修プロジェクト  
役員報酬検討プロジェクト  
20周年記念実行委員会  
二番館建設委員会  
花どけい編集委員会  
交流会企画委員会

# 「ぐるーぷ藤」新体制と総会報告

訪問介護事業 (ぐるーぷ藤ホームヘルプ) 本来事業  
介護保険事業  
障がい者自立支援事業

管理者 : 紀野まり子  
サービス提供責任者: 米田由貴枝、松本ののぶ、日上ちるみ



松本

紀野

居宅介護支援事業 (ぐるーぷ藤ケアマネジメント)

管理者 : 松岡薫、主任ケアマネジャー : 櫻井尚美  
ケアマネジャー : 笹原美恵子、高橋和代



日上

訪問看護事業 (訪問看護ぐるーぷ藤)

管理者 : 伊藤順子  
看護師 : 西尾早苗  
福土恵美子  
巻瀨静美



櫻井



伊藤

通所介護事業 (デイハウス藤の花)

管理者 : 佐藤律子、主任 : 藤井美和  
(デイハウス菜の花)  
管理者 : 野口恵見子、主任 : 菊池真理



藤井

高齢者住宅 (ぐるーぷ藤一番館)

ホーム長 : 佐藤律子  
副ホーム長 : 巻瀨静美  
主任 : 佐藤恵美



野口

小規模多機能型居宅介護 (ぐるーぷ藤しがらきの湯)

管理者 : 酒井清美  
主任 : 村田善枝  
計画作成担当者 : 早瀬麻里子



菊池

障がい者グループホーム (藤が岡の家)

管理者 : 松岡 薫



酒井

厨房・レストラン (OHANA オハナ)

厨房チーフ : 今野正弘  
オハナチーフ : 中山 泉  
管理栄養士 : 山下亮子



山下

事務局

事務局長 : 吉村さえ子  
総務主任 : 宮崎早苗  
経理主任 : 富田信美



山下

## 第7回通常総会報告

5月28日(土)産業センターにて第7回(通常第19回)通常総会を開催しました。

藤沢市長はじめ、ご来賓から温かいエールをいただきました。

「ぐるーぷ藤」は、今年度20周年を迎えます。事業報告、決算報告、事業計画、事業予算に加え、二番館建設に向けての定款変更、借入金限度額など6議案が全会一致で承認されました。

## ご来賓の方々



藤沢市長 海老根靖典 様  
20年に亘る支えあいを実践してきた「藤」をお手本にして市政を行いたい。



衆議院議員 阿部知子 様  
震災後、足の引っ張り合いをしている政治は嘆かわしい。



県議会議員 鈴木恒夫 様  
「一番館」の地元の議員として応援したい。



横浜銀行副支店長 前田 様  
地域の金融機関として、「ぐるーぷ藤」の活動を側面から支援したい。



ふじファンド代表 小野 様  
「ふるーぷ」の代表をしていただくと、藤の活動を応援できる。



市民協常務理事 坂口郁子 様  
震災後すぐ仙台にセンターを立上げ、支援を行っている。



総会後、グループに分かれてゲームを楽しみました。



手話通訳 堤様

# デイサービス 四季おりおり

～おいしく食べる～

「デイハウス藤の花」管理者 佐藤 律子

食欲のない夏こそ、工夫して・・・

私は楽しいことが大好きです。

楽しいことの中で、一番好きなのはおいしい物を食べることです。(プルプルのプリン・じゃわーと焼けたお肉・新鮮なお刺身・採れたてのお野菜・い～い匂いのパン・焼きたてのクッキー)「好きな食べ物は何か?」と質問すると、皆様考えながら笑顔になります。「嫌いな食べ物は?」と聞くとどなたも悲しそうな顔になります。実は私にも嫌いな物がありますが、上手につきあっていこうと思っています。好きな物を食べることは、元気に、笑顔にしてくれます。おいしく食べて夏を乗り切りましょう。



～おいしく食べるポイント～

point1

●香りを楽しみ食欲をかきたてましょう!

食欲を増進させる、  
うなぎ屋さんのパタパタうちわ・・・など



point2

●色どりよく盛りつけましょう!

食事は目から・・・



point4

●おいしく食べられる口の中にしよう!

豚カツ、海老フライ、ステーキ、まぐろ・・・。  
かぶりつくには歯が大切です。  
歯は大丈夫ですか?  
入れ歯は合っていますか?



point3

●食べたいものを食べましょう!

ふだんお粥を召し上がっている方も、  
たまにはお寿司、ステーキ、うなぎなど  
好きな物に挑戦!  
大好きな物には飲み込みの良くなる  
魔法があるんですよ



point5

●何よりも大切な事はお腹がすくこと!

食欲の出る環境づくりが大切です。  
しっかりと起きる。外に出ておひさまを浴びる。  
お花、鳥の声、風の音など、見たり聞いたり感じたりして五感を大いに働かせ、お腹をすかせましょう。



元気に夏を  
乗り切りましょう!

本来は私たち子どもが、親孝行して見ていかねばならないのですが…。母の日常のほとんどの部分を、「藤の花」の施設とスタッフの方々にお世話頂いています。

お仲間に入れて頂いたきっかけは、5年程前です。長老として長年通っていた水泳に通わなくなり、毎日コタツに入る日が続き、ウツ状態になってしまったことからでした。

そんな折に「べるーぶ藤」を紹介して頂きました。同世代の方々と、見守るスタッフがほのぼのとした関係にある当施設にめぐり会えたのです。それ以来、理事長はじめスタッフの皆さんが大切な母を支えて下さっています。年を重ねた方達に対し、自由と敬意をもって接して下さっている姿を拝見する度に、私もいつかはここに、と今から希望しています。先ずはスタッフとのしっかりした信頼関係を得られたことは、母にとっても私にとっても幸せなことだと思っています。どうぞこれからもよろしくお願いいたします。



🌸 **スタッフ紹介** 🌸 2010年8月から10月に入会された3名の方々は。

○ **奈良橋 朋美** 8月入会

ドライバーとして「藤」に入会しました。元気で明るいご利用者との挨拶から一日が始まります。勤務の合間に、ヘルパー2級の資格も取得できました。これからは、望まれるケアが出来るよう頑張りたいと思います。

○ **石井 恵美子** 10月入会

新しい出会いに感謝する気持ちと、今私に何が出来るのかと思う心、どちらも大切にして、「藤」と共に歩ませていただきたいと願っております。

○ **山下 亮子** 10月入会

受付として入会し、4月より栄養士として勤務しています。不安ととまどいの日々ですが、楽しく仕事！をモットーに、満足していただける食事を提供できるように努力していこうと思います。



**わが家のペット紹介**

♪岩澤さん家の小さな動物達♪



おじいちゃんの鳥小屋にはたくさんの鳥がいるので、毎朝夕のお世話は一仕事。今、息子の周りではカメやカナヘビなどの捕獲が流行っているのです。餌を求めて顔を伸ばしてくるカメはかなりかわいいですよ。



● **介護のワンポイント** ●

《食卓で「認知症の芽」をチェック》

- ☆ 食事の誘いにすぐ来ない。
- ☆ わきめもふらずバクバク食べる。
- ☆ いつでも料理に文句を言う。
- ☆ やたらとこぼす。
- ☆ 新しい料理や食材に箸をつけない。

家族が集まる食卓は、観察できるチャンス！



食事をした後に「私だけもらってない」と言いはじめたら専門医を受診するようにしましょう

第4回木村先生の講座が開催されました。

(主催：ボランティアすみれ)



クリスKインターナショナル  
代表取締役  
色彩心理カウンセラー



先生の研修を受講すると毎回心を癒され、とても元気になります。

対人援助には自分の心のクリアリング、五感（あるいは六感）を使った人間力、正しい言葉遣いが必要であるということを知りました。

「言霊」というように言葉には魂があり、力を持っていて、同じ意味の言葉でも言葉遣いによって相手の気持ちが変わってしまうので、仕事の上でもプライベートでも言葉に気をつけ、相手への心遣い、心配りが出来るようにしたいと思いました。

次の講座も楽しみにしています。(土屋順)

東日本大震災ボランティアに参加して

5月29日～6月5日

※市民協が中心となり立ち上げたNPO支援全国プロジェクトの一員として、「ぐるーぷ藤」から2名(織田泰永さん・原田尋生さん)が参加しました。

(※市民協：市民福祉団体全国協議会)

僕たちは「ぐるーぷ藤」からボランティアとして、宮城県の被災地に一週間行きました。まず、仙台市の宅老所に2日間いて散歩や話し相手をし、それから周りの泥の除去もしました。ご利用者の中には、被災された方もおられましたが、明るく前向きに過ごされている姿に驚きました。

津波の被害はテレビで観るよりひどく、その大きさにすごく驚かされました。また、テレビでは伝わらない、色々な物が混ざった「臭い」がかなり強烈でした。海の近くにあった駅は津波に流され、跡形もなくなっていました。

まだまだボランティアが足りないと思いました。復旧には、長い年月がかかると思います。また是非夏休みにも行けたらと思っています。とても貴重な体験をさせてもらいました。(織田泰)



被災地の現状

編集後記

3月の大震災から早くも4か月が経ってしまいました。私たちの生活はまた以前に戻ったように感じられますが、原発事故による節電はこの夏の生活を直撃しています。収束の目途が立たない現状では、この先の不安も絶えません。無理をせず昔の知恵を取り入れ、便利なグッズを利用しながら楽しく節電に励んでいこうと思います。

今はアウトドア人口も増え、スローライフを実践している人も多くなりました。そんな生活が普及していけば、地球の環境も良くなっていくのでしょうか。将来を生きていく子どもたちのためにも、今の生活を見直してみるのもいいかもしれませんね。

(小野淑・井出・岩澤・上原美・戸田・橋本雅)

NPO法人ぐるーぷ藤



受付時間：9：00～18：00

電話：24-3100

時間外(18：00～翌日9：00)の場合は、090-7015-7062 までお問い合わせください。

表紙の絵は、川村コウイチ様のご厚意による作品です。

好評レシピNo.11  
人参のサラダ  
プルーン入り

＜人参嫌いな人？にもおすすめですよ！＞

材料	人参	2本 (350g～380gくらい)	砂糖	40g
	プルーン	50g	塩少々	
	プルーンヨーグルト	80～100g	マヨネーズ	80g～100g

＜作り方＞

- ① 人参の縦の長さをいっぱい使うように、ピーラーでカットする。
- ② ①を耐熱容器に入れラップをし、レンジでしんなりするまで温める。
- ③ ②の水気をできるだけ切り、砂糖と塩で味を付ける。
- ④ プルーンヨーグルトとマヨネーズ、刻んだプルーンを加えてよく和える。
- ⑤ 一晩なじませてから食べる。

レストランOHANA(オハナ)  
日曜日～金曜日/11:00～16:00営業  
皆さまのお越しをお待ちしております。

